

A PET IS FOR LIFE

毎年、全国で約百万匹のペットが保健所で処分されています。それも三百億円の税金を使つて、です。処分される動物の多くは、飼うのに手間がかかりす

ぎる……という理由で誰かに拾われて飼ってもらえたらとか、山で強く生き残つてほしいなどの思いを込めて捨てられた犬や猫です。また、飼い主の手で直接持ち込まれる場合もあります。これは「飼い主が望まないのに生まれた」というのが理由ですが、こうした子犬子猫にはもともと何の罪もあります。飼い主が母犬、母猫に避妊手術を施すのを怠った結果なのです。

ペットの飼育をやめる動機はいくつかあります。「鳴き声がやかましい」「臭い」「近所から文句が出る」一等です。しかしこれらは動物の責任ではありません。飼い主の責任なのです。動物に十分な場所、運動、愛情、思いやりを与えない人間が悪いのです。そして後で苦しむのは決して動物なのです。私達はこうした動物をめぐる問題に対し真剣に考えなければなりません。願いはただ一つ「動物を幸せにすること」です。国内、海外から集めた情報は動物の飼い主にとってきわめて有益なものです。いや、動物を飼っていないなくても、その人が動物に興味を持つなら、常に価値あるものになると思いま



す。何回かにわたって紹介していきたいと思います。皆様も動物に関心するご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

★動物に近づくと

あなたはかわいい犬や猫を見てもすぐ頭をなでようと手を出したりしませんか。でもちよつと待って。ほとんどの犬や猫にとって、知らない人間はこわいのです。まずやさしく話しかけてしゃがみ、相手の様子を見てから、そつと首や胸の方をなでてあげて下さい。動物たちは声をよく覚えています。よろこんでいるのか、こわがっているのか、きつと心の中が様子に表われているでしょう。そして多くの動物たちと友だちになつて下さい。(エリザベス・オリバー)